

サステナビリティ経営方針

2025年5月

マルフク電気株式会社

代表取締役 峯岸 則幸

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能(サステナビリティ)な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。

また、近年、SDGsへの関心の高まりなど、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

当社は官公庁の発注する施設をはじめ、病院、店舗、プラント施設、オフィスビル等の電気設備工事を行っており、事業を通じて社会インフラを支えています。さらに引渡し後も定期的な点検を実施しており、長きにわたって使われる施設となるようサポートしています。

今回の検討結果

当社は創業以来、電気設備工事を主業として取組んできましたが、事業を継続できたのは従業員の技術力のおかげです。さらに当社が持続的に成長するためには、これまで行ってきた従業員の資格取得支援や勉強会の開催などの取組みに加え、従業員が安心して働ける環境を整えることが重要と考え、以下の四つを重要課題(マテリアリティ)として、取組みを充実・強化してまいります。



労働環境の整備



資格取得支援



サービスの質向上



地域貢献

サステナビリティへの具体的な取組み

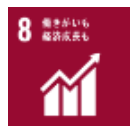
労働環境の整備

選定理由 労働環境の整備によって、従業員の働きやすさが改善し、生産性が高まることや、自社の業績が改善することが期待されることから、マテリアリティとして選定。

アクションプラン

- 遠隔地の現場で業務を行う従業員に対して、工事期間中は近隣マンションを手配し、通勤の負担を軽減する。
- 現場の従業員と内勤の従業員の評価基準を定め、公平公正な評価体制を整える。

取組効果 従業員満足度の向上
人材定着率の向上



資格取得支援

選定理由 従業員の人材育成支援は仕事を通じた自己実現を促進するためマテリアリティとして選定。

アクションプラン

- 社内で行っている資格取得支援の勉強会を継続して開催する。
- 資格取得支援を継続する。

取組効果 従業員のスキルアップ
企業の持続的成長を支える



KPI(目標と指標)

- 遠隔地の現場に通勤する際の社内ルールの整備
- 人事評価規定の整備

KPI(目標と指標)

- 月1回勉強会を開催
- 従業員の資格取得支援の継続

サステナビリティへの具体的な取組み

サービスの質向上

選定理由 サービスの質を向上させることは、お客さま満足の向上に繋がり、さらには自社の持続的な成長に資することが期待されるためマテリアリティとして選定。

アクションプラン

- 中途採用の強化
- 社内システムの見直しを行い、設計、事務、現場の各部署が円滑に業務を進められる体制を整える。

取組効果 お客さま満足の向上
企業の持続的成長



地域貢献

選定理由 地域の活性化を促す取組みは、地域に根差した当社の役割であり、地域貢献を通じて、新たな雇用機会が生まれることが期待されることからマテリアリティとして選定。

アクションプラン

- 地域貢献の取組みのアナウンス
- 地域人材の雇用機会の提供

取組効果 新たな雇用機会の創出



KPI(目標と指標)

- 2025年度中に設計担当者1名の採用
- システム改善に向けた社内業務の整理

KPI(目標と指標)

- 月1回の清掃活動
- 地域への情報発信を実施